

ぴぼっと通信



今月の
ぴぼっと
通信は・・・

発行日：2025. 2. 25 VOL263

発行者：今関 和美 編集：奥内

ニュースで北陸地方が豪雪に見舞われる映像をみると、能登地方の方は大丈夫かなと心配になります。名古屋でも寒い日が続きますが、体調を崩されてはいませんか。

私は、こたつに入りながら、灯油ストーブで沸かしたお湯でコーヒーを入れたり、映画を観たりする時間をとても至福に感じています。皆様の至福の時間はなんでしょう。

- ① 請求書、来月予定の電子化のご案内
- ② 請求書・代理受領通知書の理事長印について
- ③ 重症心身障害児・者支援研修に行ってきました

①請求書、来月予定電子化のご案内

毎月、ぴぼっとより25日ごろまでに送られているお手紙（ピンクの封筒）ですが、送付遅延や紛失の防止、及び業務効率化と環境保護の観点から、請求書等の電子化を進めることになりました。

【電子化されるもの】
ぴぼっと通信 請求書 来月予定 等

【変更時期】
2025年4月末の郵送分より

【今後の送付方法】
請求書 来月予定：メールにてエクセルファイルを添付して送信
ぴぼっと通信、その他のお知らせ：社会館ホームページ内にあるぴぼっとホームページにて閲覧できるよう URL を貼りつけて送信する予定

つきましては、利用者皆様方には、電子化された請求書等を送る、メールアドレスの登録をお願いいたします。

今月のお手紙の中に、**請求書・次月予定表等の電子化に関するご案内（黄色の用紙）**が入っていると思います。詳しくはそちらをご確認ください。

お手数をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おねがい



②請求書・代理受領通知書の理事長印について

これまで請求書・代理受領通知書には理事長印を押印しておりましたが、2月の請求書（3月郵送分）からぴぼっと事業者印へ変更いたします。代理受領通知書につきましては押印なしへ変更いたします。よろしくお願いします。

③重症心身障害児・者研修へ行ってきました

1月31日 名古屋市総合社会福祉会館にて開催された重症心身障害児・者の研修に行ってきました。こうした座学の研修を受けると、日常の何気ない支援が意外と大きな意味であったり、見落としていた支援だったり、気づかされることがあると感じました

自分では、表出することが難しい人にどう対応するべきか

→支援者は、普段の姿、安定した状態を把握する必要があること

→状態や体調の変化を適切に判断できるように、複数の目で確認、時間を追って確認することが必要

判断の指標となるものとして

①体温（平熱）②脈拍（リズム、回数）③呼吸（速さ、リズム）④意識（睡眠、覚醒リズム、発声）⑤食欲（咀嚼、嚥下状況、体重変化）⑥排泄（排尿間隔、尿量、排便状況）等を把握しておく必要がある。

支援者に求められることは

①聞く姿勢、待つ姿勢②支え寄り添う人間性③感性を高める④専門性を高める⑤知識と技術の習得⑥倫理観⑦チームアプローチ⑧自分自身の健康管理

支援者側には、本人の状況を確認する難しさを踏まえた上で「変だな」という感覚「危険かも」と疑う姿勢が、観察、異常の早期発見につながる。

ぴぼっとのような、ショートステイ、入浴介助、外出支援等、部分的な関わりを求められる場では、職員や家族、関連施設での情報共有がとても大事になると改めて感じます。

今回は重症心身障害児・者の研修でしたが、判断の指標や情報共有は、すべての利用者の方にもあてはまることだなと思いました。

そして、こうした判断ができるように、まず自分自身が健康でないといけないと思いました。

※当日の会場は、7F だったのですが、エレベーターを使わず頑張って上がりました。

連 絡 先

社会福祉法人名古屋キリスト教社会館 生活支援センターぴぼっと

住 所：〒457-0804 南区源兵衛町 5-18-10

電 話：052-613-1306

F A X：052-746-0873

緊急連絡先：090-7865-8518

(pi bb ot-1225.ncs@docomo.ne.jp)